

新国道線街路事業に伴う埋蔵文化財発掘調査における調査報告について（10月末時点）

1 概要

(1) 調査の場所（第1・2図）

茅ヶ崎市本村四丁目 1488-1 番地先～1489-3 地先

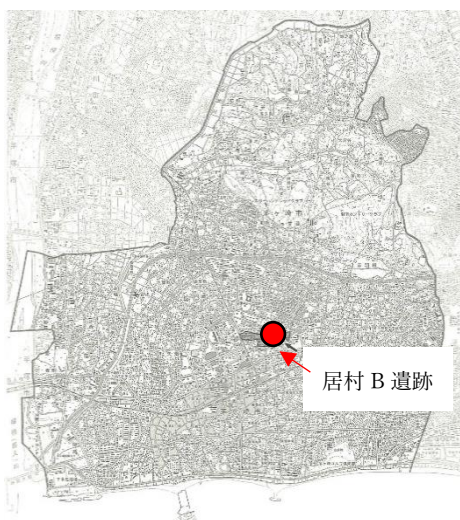
(2) 遺跡の名称・時代

居村B（茅ヶ崎市No.199）遺跡

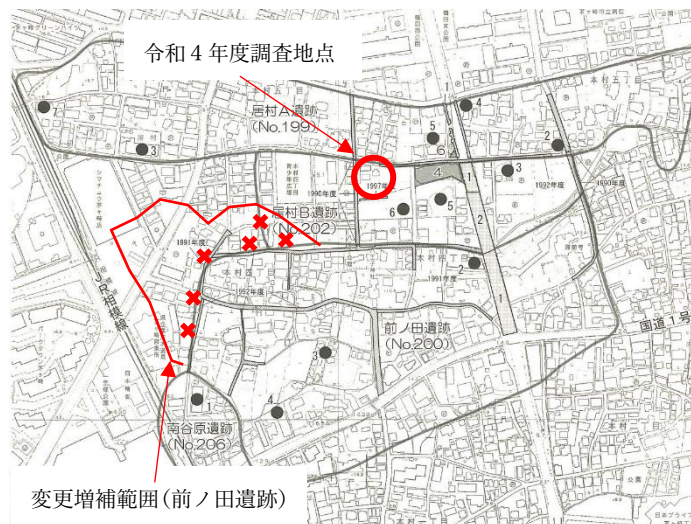
（縄文時代、弥生時代、古墳時代、奈良時代、平安時代、中世、近世）

(3) 調査予定期間

令和4年8月22日～令和5年1月31日（2月は埋戻し・撤収予定）



第1図 遺跡位置図



第2図 調査地点及び遺跡分布図

2 10月末時点の調査状況

(1) 現在調査中の時代（面）

現在、中世から江戸時代（1707年よりも前）を第2面として調査中

（昭和期、江戸時代以降（1707年以降）（第1面）の調査は終了）

(2) 発見された遺構

昭和期：畦（土地境）、田、土地境に伴う杭列、陶管（S16（1941）年頃か）、土坑など

江戸時代以降（1707年以降）（1707年以降）：畦、田

中世から江戸時代（1707年よりも前）：道状の黄色砂範囲（畦か）

(3) 発見された遺物

昭和期：陶管、ガラス瓶、杭

江戸時代以降（1707年以降）：陶器、磁器、曲物片、板材、杭（稲杭か）

中世から江戸時代（1707年よりも前）：かわらけ

※流れ込みと考えられる土師器、須恵器片は一定量出土しています。



写真1 江戸時代（1707年以降）～昭和期全景（西から）



写真2 江戸時代の水田から出土した漆器